

エスクローファイナンス

「破天荒」の資金調達方法
住宅ビルダー向け出来高融資

（唐の時代）この頃中国に「破天荒」と地域の民衆は科挙という厳しい官吏登用試験があった。荆州では長年、合格者を出すことができず、人々は「この地は天荒、つまり荒れた未開の土地だ」と言って嘆いていた。やがて、やっと劉蛻という俊英が出現して合格し、「天

荒を破った」と地域の民衆は喜んで伝えられている。単に常識破りの行動をするというのではなく、今まで誰もやれなかったことをする。それが「破天荒」の語源だ。エスクローファイナンス（代表取締役・須田幸生氏）は、経済産業省が産業金融

活性化を目的として、普及促進を目指している「A B L」（動産・債権等担保融資）を住宅業界向けにアレンジした新たな資金調達方法「住宅ビルダー向け出来高融資」の旗手。近年の相次ぐ工務店、住宅建築会社の倒産で、施主が多額の前払金を支払いながら、家が完成しないケースが続出した。同社は住み継がれる良質な住まいづくりを担うビルダーに対して、建築工事の出来高に応じた事業資金の融資を行うことで、健全な建設業界の実現に寄与する21世紀型先覚派企業だ。同社が工事期間中の建築事業資金をビルダーに出来高で融資することで、施主は建物が完成してから代金を支払えば良いこととなるため、安心して工事を発注することができるとしている。まさに、住宅業界初の「破天荒」なサービスであり提案として、関係各先からの注目度も高い。新しい事業融資モデルの会心としても、その普及成長が今期待されている。

千代田区内幸町1-1-1